

令和7年度 学校の教育目標

共に輝け!! 八中生

八幡浜市立八幡浜中学校

書：竹上広子先生

八幡浜中学校「校長だより」 No.14

校 訓

誠 実 情 熱 団 結

令和8年3月4日（水）

※ 八幡浜中学校 HP

「校長だより」に掲載。

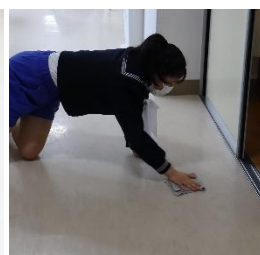
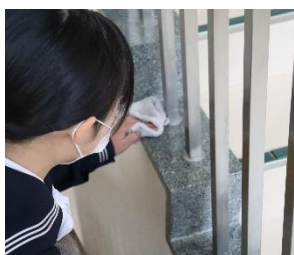
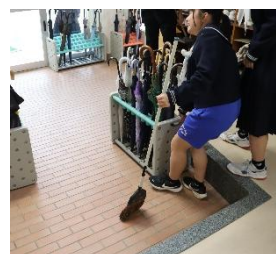


「気付き」・・・成長するためのスタート

八幡浜中学校では、2学期から清掃活動に力を入れています。これは、主体的に考え、判断し、行動する自律した八中生を育成するための一つの取組です。

私は、掃除の時間に、八中生の掃除の様子を見て回っています。

生徒玄関では、傘立てを横に動かし、下にたまったごみを掃き集めていました。1階から2階に上がる手すりの下に、たまった埃を拭き取っていました。2階の流しの排水溝を、洗剤を付けてブラシでこすってきれいにしていました。2階から3階に上がる階段の隅にたまったごみを、丁寧に取っていました。3階の廊下を、膝をついて、力を入れて丁寧に床を拭き上げていました。



どの生徒も、一生懸命掃除に取り組んでいます。その活動のスタートは、汚れている所を見つけた、「汚れに気付いた」ときです。何となく見ていたのでは、汚れは見えませんし、汚れに気付きません。「汚れている所を見付けるぞ」「汚れている所をきれいにするぞ」「みんなが気持ち良く生活できるように、きれいにするぞ」「みんなのためにきれいにするぞ」このような、強い思いや気持ちがあれば、汚れに「気付き」ます。そして、気付けば、主体的に考え、判断し、自律的に行動することができます。それが、自分自身の成長につながります。

このようなことは、何も掃除に限ったことではありません。3年生が明日からの入試で問題を解く時にも、同じことが言えます。問題文やその中に出てくる図や写真やグラフや表や文章などの中には、解くためのヒントが必ず含まれています。ですから、問題文や図などの中にあるヒントに「気付いて」ください。何となく解くのではなく、「ヒントを見付けるぞ」「解いてやるぞ」という強い気持ちを持って、問題に挑んでみてください。必ず、答えを導き出すことができます。これは、1、2年生が実力テストを受けるときにも言えることです。

（文責 河野 靖）